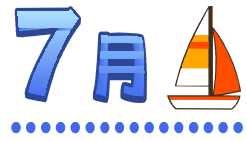




明倫

舞鶴市立明倫小学校

平成30年 7月20日



「夢」の実現に向けて

7月初旬の大雨の影響で明倫小学校区にも大きな被害が出ました。被害を受けられた方には心よりお見舞いを申し上げます。また、1日も早い復興を祈っております。

さて、先日「夢実現講演会」として本校卒業生の齋藤里香さんに、城北中学校区4小学校の5年生は話を聞かせていただきました。齋藤さんは2008年北京オリンピックのウェイトリフティング（重量挙げ）で6位に入賞されました。同級生には2004年アテネオリンピックで活躍した山口有希さんがいらっしゃり、明倫小学校の同学年から二人のオリンピック選手が出ているのです。

齋藤さんは中学生のときウェイトリフティングという競技に出会い、高校生の時から専門的に取り組まれました。日本一になる、世界一になるという目標をたて努力されたのです。オリンピックに出ることに、何度も挑戦され2008年にはみごと8位に入賞されました。この後、入賞した人が失格となり現在は6位入賞で確定したということです。オリンピックに出るということはそう簡単なことではありません。講演の中で「努力しても夢がかなうとは限らない。しかし努力しなければかなうことはない。」と子どもたちに語りかけられました。自分の夢をみごと実現された齋藤さんの言葉には重みがありました。

明倫小学校からはすばらしい先輩がたくさん卒業されています。その卒業された先輩から刺激を受けて、自分の夢を追い求めてほしいと思います。

本日で1学期を終了しました。明日からは夏休みとなり地域や家庭で過ごす時間が長くなります。様々な面でご配慮いただくことが多くなりますが、どうぞよろしく願います。2学期の始業式で、子どもたちが少し成長した元気な顔を見せてくれることを期待しております。

校長 池田 弘一

夏休みに何をする？

京都大学で世界最先端の研究をされている河村先生の話をして、5・6年生は出前授業として聞きました。河村先生は京都の高校を卒業してアメリカの大学へ行き勉強され、今は京都大学で天文学の研究をされています。授業後には、宇宙に興味を持ちたくさん質問している人もいました。いつも疑問に思っていること、調べてみたいことを時間のある夏休みに調べてみるのもいいと思います。自分の興味あることなら根気強く調べられるでしょう。時間をかけて調べてみて、2学期には教室の友達に教えてあげてください。もちろん、何か作品や工作を作ってみるのもいいです。普段できないことに挑戦することが大切だと思います。

